



世代を超えた熱戦！下の句歌留多大会

2月1日（日）、高齢者コミュニティーセンターで「幌加内町下の句歌留多大会」が開催されました。今年では世代間交流体験事業（老人クラブ）との共催で実施され、小学生2チーム、高校生4チーム（1チーム3人）、高齢者を中心とした一般7チーム、あわせて約40人が参加。木札をめぐる熱戦が繰り広げられました。

会場には5シートを並べましたが、それでも全チームが同時に対戦できないほどの盛況ぶり。特に今年では高校生の参加が多く、世代を超えた交流の場としても大変にぎやかな大会となりました。



豆まきで鬼退治！双葉保育園

2月3日（火）、双葉保育園で恒例の豆まきが行われました。はじめに先生から、「豆には悪いことを追いかぶる力があるんだよ」とのお話があり、園児たちは真剣な表情。さらに「山から鬼が下りてくるかもしれないよ」と聞いた瞬間、園内にはピンと張りつめた空気が流れました。

そして——ついに鬼が登場！

「鬼はそと！」と勇敢に豆を投げる子もいれば、びっくりして先生の後ろに隠れる子、思わず泣き出してしまう子もいて、園内はちょっとした大騒ぎに。あちこちから元気な声と泣き声が響き、まさに節分らしいにぎやかな光景となりました。

それでも、みんなで力を合わせて無事に鬼を退治。最後は鬼と仲直りし、一緒に記念写真を撮影しました。どうやら一番ホッとしたのは鬼だったようです。



幌加内中学校の生徒が古衣類回収の活動を報告

2月10日（火）、幌加内中学校の生徒4名が来庁し、校内で取り組んできた「古衣類回収」の活動について報告してくれました。今回集まった古衣類は、合計17.9kg。対応した大野副町長は、「資源を生かし、CO₂の削減にもつながる、人にも環境にも優しい取り組み。ぜひご家庭でも環境について話し合うきっかけにしてほしい。」と、生徒たちの活動をたたえました。生徒たちは、この取り組みについて「再利用されることで、ゴミが少なくなると感じた」「CO₂の削減に貢献できていると感じた」「これからもこの取り組みを続けていきたい」と思いを伝えてくれました。





母子里クリスタルパークで幻想的なライトアップ — 天使の囁き記念日 —

2月14日(土)、母子里クリスタルパークにて、冬の夜を彩るライトアップイベントが開催されました。「天使の囁き記念日」は毎年2月17日と公式に制定されていますが、今年は週末に合わせ、ひと足早い14日にライトアップが実施されました。

会場では、モニュメント「クリスタルピークス」が鮮やかな光に包まれ、雪と光が織りなす幻想的な景観が広がりました。寒空の下にもかかわらず、観光客の皆さんは熱心にカメラを構え、輝くモニュメントを思い思いに撮影する姿が見られました。

澄み切った空気と静けさの中で浮かび上がる光の演出は、母子里の冬の魅力を改めて感じさせるひとときとなりました。



雪上で熱戦！～雪中バレーボール大会in幌加内が開催されました

2月15日(日)、冬ならではのスポーツイベント「雪中バレーボール大会in幌加内」が山村広場で開催されました。

当日は町内チームに加え、近隣市町村や札幌からも参加があり、全15チームがエントリー。ふかふかの雪の上という普段とはまったく違うコンディションに、思い通りに動けない場面も多く見られましたが、その分、会場のあちこちから歓声や笑い声が響き渡り、冬の寒さを吹き飛ばす白熱したプレーが見られました。

熱戦の末、見事優勝を果たしたのは「沼田クラブ(旭川市)」チーム。なんと今大会で5連覇という快挙を達成。町外のチームの活躍に刺激を受けて来年は地元チームのさらなる活躍を期待したいと思います。

